

アクサ フィナンシャル生命の変額個人年金保険

ほほえみ返し

変額個人年金保険 (07) 有期D2型

特別勘定（世界分散型30AF）

月次運用実績レポート

2009年4月

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を集集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ フィナンシャル生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定(ファンド)で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用対象として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2009年4月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2009年4月]

【国内株式市場】

4月の国内株式相場は上昇しました。上旬は、日米のマクロ経済指標の改善や、G20首脳会合での財政支出等に向けた合意に基づく政策への期待から上昇しました。しかし、中旬に発表された中国の2009年1-3月のGDP成長率が市場予想程度にとどまった他、国内外企業の業績発表を控え、株式市場は上値の重い地合いとなりました。月末に、FRBが一部の米国金融機関に対して自己資本の増強を要請したとの報道や、新型インフルエンザの感染の広がりから、市場心理を悪化させる局面もありましたが、月末最終日に発表された鉱工業生産指数の改善や、米国の2009年1-3月月のGDP成長率が景気の底打ちに対して期待を抱かせる内容であったことから、世界的な景気回復への期待が再び高まり、株式市場は上昇に転じました。

【外国株式市場】

4月の外国株式市場は、前月に続き大きく反発しました。米国株式市場は、発表された経済指標が予想ほど悪化していなかったことに加え、FASB(米財務会計基準審議会)が時価会計の適用基準を緩和するとの報道が好感され、月初から上昇しました。更に、9日に大手銀行のウェルズ・ファーゴが1-3月期の業績が予想を上回ったことを発表すると、金融株を中心に大幅な上昇となりました。その後、相次いで発表された企業の1-3月期の業績が概ね良好な内容となったことで、株式市場は上昇基調を維持したまま月を終えました。欧州株式市場も、米国市場と同様に金融セクターが主導する形で大きく上昇しました。アジア・オセアニア市場は、積極的な景気刺激策を施した中国において、その効果が出始めていることが好感され、香港市場を中心に大きく上昇しました。

【国内債券市場】

4月の長期金利(10年国債利回り)は、1.4%台に上昇した後、揉み合う展開となりました。月初は長期金利が急上昇する展開となりました。6日に麻生首相が真水でGDP比2%を上回る「経済危機対策」の検討を指示し、8日に政府・与党が今年度補正予算案の財政支出規模を約15兆円とする方針が伝わると、大規模な国債の追加発行に対する警戒が広がったことや、景況感の改善を期待した株式市場の上昇、米国の長期金利の急上昇も売り要因となり、10日に一時1.490%まで上昇しました。その後は揉み合いに終始する展開となりました。

【外国債券市場】

4月も多くの主要国や投資対象国で更なる金融緩和政策が実施されました。ニュージーランド、スウェーデンで0.50%、ECB(欧州中央銀行)、カナダ、オーストラリア、デンマークで0.25%、それぞれ政策金利が引き下げられました。また、米国及び英国では、中長期債の買い入れ等による量的金融緩和政策が継続して実施されています。世界の主要金融市場では債券の利回りは概ね上昇(価格は下落)しました。金融機関の予想以上に好調な決算を背景にした株式市場の上昇を受け、債券に対する需要が後退したこと等が背景としてあります。また、財政出動のための国債発行額の増加による需要の後退も引き続き懸念されています。

【外国為替市場】

為替市場では、米ドル/円相場は98円を挟んで推移し、やや円高ドル安の展開となりました。月の前半は金融機関の予想を上回る決算発表などによる株式市場の上昇を受けて、一時1ドル=100円台まで円安ドル高が進みました。その後中旬以降は、米大手自動車会社の先行き懸念や米金融機関のストレステスト(健全性審査)に関する報道などからリスクテイクの動きが後退し円高ドル安の流れとなり、月末には97円台まで下落しました。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿7F-ストウエスト10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年4月)

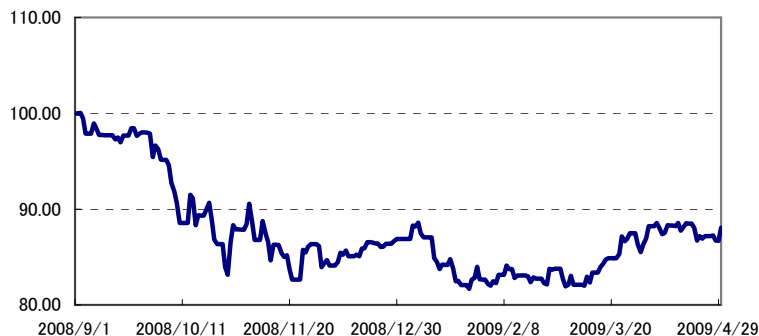
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2009年4月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型3OAF	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 ● 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、原則として15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% ● リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。 ● 当ファンドの主なリスクとして、資産配分リスク、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスク、流動性リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド3OVA (適格機関投資家限定)	

■特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年9月1日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2009年4月末	88.07	過去1ヶ月	2.99%
2009年3月末	85.51	過去3ヶ月	6.55%
2009年2月末	83.77	過去6ヶ月	0.21%
2009年1月末	82.65	過去1年	—
2008年12月末	86.89	過去3年	—
2008年11月末	86.35	設定来	▲11.93%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型3OAF	
	金額(千円)	比率
その他有価証券	14,565,192	99.0%
現預金・その他	154,319	1.0%
合計	14,719,511	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿7F-ストリート10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

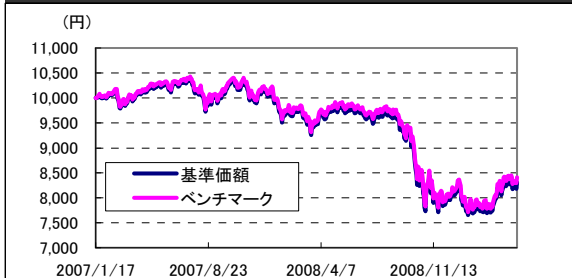
変額個人年金保険 (07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年4月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)の運用状況 [2009年4月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
基準価額およびベンチマークは設定日(2007年1月18日)の前日を10,000として表示しております。
基準価額は信託報酬(年率0.315%(税抜0.3%))控除後です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1か月 (2009/03/31)	3か月 (2009/01/30)	6か月 (2008/10/31)	1年 (2008/04/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	3.20%	7.24%	1.47%	-14.69%	-16.90%
ベンチマーク	3.43%	7.01%	1.55%	-14.40%	-15.89%
差	-0.22%	0.23%	-0.09%	-0.29%	-1.01%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なる場合があります。

分配金情報(税引前)

期	日	分配金	※分配金は1万円当たり
第1期	2007.06.22	0円	0円
第2期	2008.06.23	0円	0円
累計分配金		0円	0円

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	8,310円
純資産総額	29,305百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則6月22日
信託期間	無期限

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	9.9%	10.0%	-0.1%
国内債券	29.6%	30.0%	-0.4%
外国株式	20.4%	20.0%	0.4%
外国債券	38.3%	40.0%	-1.7%
現金等	1.8%	0.0%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	-

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。
※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。
※外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

ファンドの特色

- 主な投資対象** 主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
- 投資方針** マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
- ベンチマーク** 以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

- 【国内株式】 東証株価指数(TOPIX、配当込み)
- 【国内債券】 NOMURA-BPI総合
- 【外国株式】 MSCIロクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)
- 【外国債券(為替ヘッジなし)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- 【外国債券(為替ヘッジあり)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
○当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
投資信託は
1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストエスト10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2009年4月)

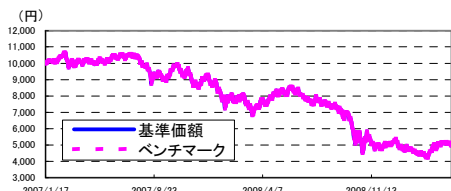
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2009年4月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

◆国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド◆

※比率は組入株式時価総額比



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX、配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数:1699銘柄)

No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.62
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.89
3	本田技研	輸送用機器	2.27
4	キャノン	電気機器	1.60
5	日本電信電話	情報・通信業	1.56
6	パナソニック	電気機器	1.42
7	東京電力	電気・ガス業	1.36
8	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.32
9	任天堂	その他製品	1.30
10	ソニー	電気機器	1.25

騰落率

	1ヵ月 (2009/03/31)	3ヵ月 (2009/01/30)	6ヵ月 (2008/10/31)	1年 (2008/04/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	8.26%	6.71%	-2.01%	-37.03%	-48.72%
ベンチマーク	8.29%	6.81%	-2.08%	-36.94%	-48.68%
差	-0.03%	-0.09%	0.07%	-0.09%	-0.04%

純資産総額 177,262 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

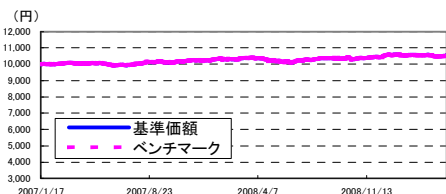
■東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

組入上位10業種

No	業種名	当ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	13.60	13.61	-0.01
2	輸送用機器	10.45	10.45	0.00
3	銀行業	9.82	9.81	0.00
4	電気・ガス業	5.76	5.76	0.00
5	情報・通信業	5.75	5.76	0.00
6	化学	5.60	5.60	0.00
7	医薬品	4.39	4.39	0.00
8	卸売業	4.36	4.36	0.00
9	陸運業	4.28	4.29	-0.01
10	機械	4.22	4.22	0.00

◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券時価総額比



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数:520銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	52回 利付国庫債券(5年)	1.99
2	293回 利付国庫債券(10年)	1.93
3	57回 利付国庫債券(5年)	1.90
4	296回 利付国庫債券(10年)	1.88
5	297回 利付国庫債券(10年)	1.86
6	60回 利付国庫債券(5年)	1.74
7	72回 利付国庫債券(5年)	1.69
8	49回 利付国庫債券(5年)	1.68
9	64回 利付国庫債券(5年)	1.65
10	66回 利付国庫債券(5年)	1.63

セクター別比率

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	75.69%	73.89%	1.80%
地方債	6.20%	6.72%	-0.52%
金融債	2.08%	2.19%	-0.12%
政保債	5.61%	5.54%	0.07%
社債	9.60%	9.41%	0.20%
円建外債	0.19%	0.83%	-0.64%
MBS	0.62%	1.27%	-0.65%
ABS	0.00%	0.15%	-0.15%
合計	100.00%	100.00%	-

騰落率

	1ヵ月 (2009/03/31)	3ヵ月 (2009/01/30)	6ヵ月 (2008/10/31)	1年 (2008/04/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-0.18%	-0.23%	1.20%	2.94%	5.30%
ベンチマーク	-0.13%	-0.24%	1.17%	2.83%	5.19%
差	-0.04%	0.00%	0.03%	0.11%	0.11%

純資産総額 269,985 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利回り	1.05%	1.11%	-0.06%
平均クーポン	1.46%	1.59%	-0.13%
平均残存期間	7.15	7.03	0.12
修正デュレーション	6.32	6.24	0.09

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。
※「複利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。
※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

○当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

○投資信託は、実質的に株式や債券等の価値のある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストエイト10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2009年4月)

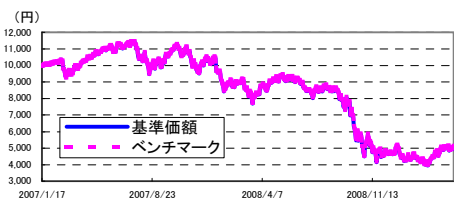
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2009年4月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

◆外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入株式時価総額比



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
 ※ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1296銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	2.42
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.13
3	AT&T INC	アメリカ	各種電気通信サービス	1.05
4	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品	1.02
5	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	0.99
6	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	0.97
7	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	0.95
8	BP PLC	イギリス	石油・ガス・消耗燃料	0.94
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融サービス	0.89
10	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロメイト	0.89

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

騰落率

	1か月 (2009/03/31)	3か月 (2009/01/30)	6か月 (2008/10/31)	1年 (2008/04/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	12.70%	16.19%	-5.47%	-43.54%	-48.92%
ベンチマーク	12.82%	15.61%	-5.49%	-43.43%	-48.53%
差	-0.12%	0.58%	0.02%	-0.11%	-0.39%

純資産総額 211,552 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

組入上位10カ国

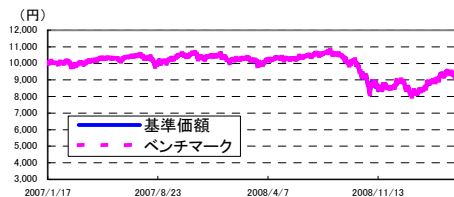
	国名	比率
1	アメリカ	54.13%
2	イギリス	10.40%
3	フランス	5.36%
4	カナダ	4.99%
5	スイス	4.62%
6	ドイツ	4.29%
7	オーストラリア	3.44%
8	スペイン	2.24%
9	イタリア	1.82%
10	スウェーデン	1.27%

組入上位10業種

No.	業種名	比率
1	エネルギー	13.09%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.50%
3	銀行	7.61%
4	資本財	7.22%
5	素材	6.22%
6	食品・飲料・タバコ	6.17%
7	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.68%
8	電気通信サービス	4.95%
9	各種金融	4.91%
10	公益事業	4.84%

◆外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券時価総額比



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
 ※ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 343銘柄)

No	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	US T N/B 5.75 08/15/10	米ドル	2.00	1.292
2	US T N/B 3.875 05/15/10	米ドル	1.94	1.042
3	US T N/B 4.0 11/15/12	米ドル	1.49	3.542
4	US T N/B 4.5 11/15/10	米ドル	1.42	1.542
5	US T N/B 4.0 02/15/14	米ドル	1.37	4.792
6	US T N/B 4.875 04/30/11	米ドル	1.35	2.000
7	US T N/B 4.25 11/15/13	米ドル	0.93	4.542
8	US T N/B 4.25 08/15/13	米ドル	0.93	4.292
9	ITALY BIPS 5.0 02/01/12	ユーロ	0.89	2.753
10	DEUTSCHLAND 5.25 07/04/10	ユーロ	0.87	1.178

通貨別比率

通貨	比率
ユーロ	51.36%
米ドル	33.03%
イギリス・ポンド	9.45%
カナダ・ドル	2.53%
デンマーク・クローネ	0.89%
ポーランド・ズロチ	0.77%
スウェーデン・クローネ	0.68%
マレーシア・リンギット	0.54%
シンガポール・ドル	0.44%
ノルウェー・クローネ	0.31%
合計	100.00%

騰落率

	1か月 (2009/03/31)	3か月 (2009/01/30)	6か月 (2008/10/31)	1年 (2008/04/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	0.24%	13.22%	6.06%	-9.99%	-7.46%
ベンチマーク	0.40%	12.11%	5.78%	-10.15%	-7.39%
差	-0.16%	1.12%	0.28%	0.17%	-0.06%

純資産総額 325,667 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスです。

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利回り	2.66%	2.73%	-0.07%
平均クーポン	4.62%	4.31%	0.31%
平均残存期間	8.26	8.36	-0.10
修正デュレーション	5.88	6.01	-0.13

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。
 ※「複利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価値をもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
 ※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。
 ※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

○当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント 
 ダイアム

【取扱者(生命保険募集人)】
 株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
 アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
 〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファースト10F
 TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
 TEL 0120-933-399 (無料)
 9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険 (07) 有期D 2型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定(ファンド)資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定(ファンド)資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っているため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
- 特別勘定(ファンド)資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- 特別勘定(ファンド)における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ フィナンシャル生命、アクサ フィナンシャル生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用 一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定(ファンド)に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【据置期間中および特別勘定年金受取期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定(ファンド)の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定(ファンド)の運用に必要な費用 投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.3%)*	特別勘定(ファンド)にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定(ファンド)がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の受取期間中】

※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年金受取日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿7ア-ストリート10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)